

【(株)中央設計技術研究所 新たな価値を生み出す社員に 笠松社長が入社式で訓示】

新たな価値を生み出す社員に

笠松社長が入社式で訓示

中央設計技術研究所

中央設計技術研究所(金沢市、笠松英昭社長)の21年度入社式が2日、新入社員9人(うち女性5人)を迎え、同社本社



で行われた。例年役員一同が集まって入社式を行っているが、今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、役員は社長のみ出席した。

式では、笠松社長が新

入社員一人ひとりに辞令を交付し、「当社は創業以来、水道、下水道、廃棄物処理を中心に社会資本整備に携わってきた。現在、上下水道事業を取り巻く環境はさまざま課題があり、私たちの使

命として、地域社会に貢献していかなければならない。皆さんはスピード感を持って、知識やスキルを身に付けて成長していくことを期待。その上で、外部環境に対応する、新たな価値を生み出していく社員を目指して、着実に前進してほしい」と訓示した。

引き続き、先輩社員を代表して牧田勲情報開発室次長が歓迎の言葉。新入社員一人ひとりが趣味などを交えて簡単な自己紹介後、新入社員を代表して金沢大学出身の稲原里咲(りさき)さんが「何事にも全力で取り組み、一日でも早く、一人前になれるよう精進していきたい」と決意の言葉を述べた。その後、笠松社長を囲んで記念撮影した。写真。